

## 社協 みなみ

■発行日：令和元年9月1日

■発 行：社会福祉法人 横浜市南区社会福祉協議会 会長 大津 幸雄

〒232-0024 南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設8階

Tel. 045-260-2510 Fax. 045-251-3264 Mail. tomany@minami-shakyo.jp

<http://www.minami-shakyo.jp>

南区社会福祉協議会は、誰もが住みなれた地域で安心して暮らしていくために、ボランティア、福祉・保健関係者や行政の協力を得ながら地域の福祉活動を進め、またその活動を応援する組織です。

# 安心して自分らしく暮らせる 地域づくりに向けて



南区では、障がいの種別や年齢を越え、地域社会における障がい児者に対する理解を深め、障がい児者の福祉の増進と社会的地位の向上を図ることを目指し活動している団体、「南区障がい児者団体連絡会（以下「区障連」）」があります。

区障連の活動目的

1 障がい児者の自立促進にむけた取組

2 障がい児者にかかる団体相互の交流

3 地域社会との連携

## ～知らせ、知り合い、つながろう～

### 啓発・発信に関するこ

区役所で、区障連として運営している喫茶店「にこにこ みなみ」を通して、障がいのある方が販売業務や喫茶業務を担い、区民との交流を深めています。また、障がい児者団体の活動についてのリーフレットの作成や、理解・啓発につながる動画制作にも取り組んでいます。

### 防災に関するこ

災害時に支援を必要とする障がいのある方が、日頃から地域とのつながりをもてるよう、区障連を通して地域へ働きかける「発信」、受け皿となる地域からの「受信」をテーマとした障がい者理解への啓発活動、災害時に備えた取り組みを行なっています。

### 研修・情報に関するこ

南区社協のホームページ内に区障連のページを設け、区障連の取り組みを地域に向けて発信しています。また、年1回の研修会を企画しております。

**現在加入団体は46団体あり、各団体が毎月集まり情報交換、情報共有を行っています。  
また、各団体と地域との連携方法を検討しています。**



次ページでは、地域の障がい児者の活動について紹介します。

「こんべい」とうKIDS  
「ほれぼれ」です。



## 横浜で発達障がい児を育てる親子サークル 「こんぺいとう KIDS」

「こんぺいとう KIDS」は、未就学児から小学生の発達障がい（自閉症スペクトラム、知的障がい、ADHD ※など）のある子どもたちを対象にした子育てサークルです。診断後にリハビリが受けられず困っている親子のために、情報交換やお遊び会を実施するために発足し、開設4周年を迎えます。

活動は月に1回開催し、活動予定や報告はホームページやSNSにてお知らせしています。

主催している内山さんは、医療職（作業療法士）の仕事をしながら発達障がい児の子育てをしています。親子が安心して過ごすことができ、発達障がいの正しい知識を誰でも気軽に知ることができる場所を作りたいと思い、活動を続けています。

活動内容は、特別な遊具で遊ぶ会や季節イベントの他、子どもたちの体験を増やすために料理教室やヨガ講座などを開催しています。また、保護者支援のためにタッチケア講座やリハビリ講座なども専門の講師を招いて開催しています。

取材を行った6月の活動は、「スヌーズレン」というヨーロッパの遊具体験会が行われており、子どもたちがたくさんの遊具を使って自由に楽しんでいました。保護者は講師にアドバイスを受け、障害のある子どもたちの感覚や遊びについて学んでいました。

講座の後にはランチ会があり、近況や子育ての悩みを保護者同士でゆっくり話し合う時間も設けられていました。

地域に子育てサークルがなく遠方から参加する親子もいらっしゃいました。何度も参加している保護者からは、「障がいがある子どもが元気に体を動かせる場所はなかなか見つからないので、この活動に参加できてよかったです」という感想が得られました。

※ ADHD：「注意欠陥・多動性障がい」



## 地域活動支援センター 「ぼれぼれ」

「ぼれぼれ」は、障がいがある方が、地域の方々との交流を持ちなが社会の一員として活動する場所として、平成18年に開所しました。現在はNPO法人南福祉ホームむつみと合併し、コーヒーショップの運営と、パン、ケーキ、焼き菓子等の製造販売、手芸品等の自主製品づくりを行っています。また、地域行事への参加、レクリエーション等を行いながらメンバーの個性に応じた作業やプログラムを行っています。

コーヒーショップは地域の活動場所になっており、老人会や子ども会、町内会などで集まり、障がい者と地域住民が交流を深め、障がい者を理解し、啓発する場にもなっています。お店の壁には、メンバーや地域の人達の作品が多く展示されていました。

作業は、役割に応じた規則正しい時間割と万全な衛生管理のもとで、多くのメンバーが工程をこなせるような工夫が施されていました。活動にあたっては、メンバーの希望をひとりひとり聞いて、パンやクッキー、ビーズでアクセサリーを作る人、料理を運ぶ人など、その人に合った作業をされていました。

また、作業を頑張った分そのまま報酬となるので、それぞれが働くにあたって目標を持っており、得意分野を活かしつつ自信をもって作業し、生きる原動力になっているようです。

定期的にイベントや旅行等お楽しみ会も企画されており、メンバーの皆さんにとって仲良く、明るく楽しそうに協力し合いながら作業しているように感じました。



# 南区社協からのお知らせ

## 平成30年度 南区社会福祉協議会事業報告

平成30年度は、第3期南区地域福祉保健計画（平成28年～32年度）に関して、中間期としての振りりとともに、第4期計画策定を視野に入れつつ促進に取り組みました。

区全体計画においては、区役所、区社協、地域ケアプラザ等と、福祉保健関係団体ネットワークの取組みが進み、ネットワーク内外においても、団体同士の協働による活動の広がりや、災害時をテーマにした地域組織の連携も進め始めました。

今年度から区との共催事業として企画した「地域活動発表会」において、16地区社協のうち、推進地区2地区である北永田地区社協は「誰もが気軽に集える場を近所に」、本大岡地区は「話し合いが地区社協活動の基本」をテーマに活動発表を行い、幅広い区民に対して、地区社協活動をPRしました。

### I 第3期南区地域福祉保健計画の推進

- ① 日ごろから声を掛け合い、つながり・支えあいの関係をつくろう  
支援を必要とする人が地域から孤立しない仕組みづくりを住民や関係機関と共に実施
- ② 誰もが活躍できる機会と身近な参加の場をつくろう  
地域福祉団体や地域ケアプラザと共にボランティア講座や活動紹介を実施
- ③ 日常の情報共有を進め、災害時にも安心できる備えをしよう  
地区社協広報紙作成支援、災害ボランティアネットワークの活動周知と会員拡大の実施

- ④ 身近な活動を通して健康づくりを進めよう  
地域の健康づくり事業や、高齢者サロン等での健康体操等の地区社協の取組み支援

### II 広報啓発

### III 研修事業

### IV 地区社協活動の支援

### V 生活支援体制整備事業・地域ケアプラザ支援

### VI 地域福祉保健計画の促進

### VII ボランティア活動支援・福祉教育・助成金

### VIII あんしんセンター事業・移動情報センター事業・送迎サービス事業

### IX 障がい関係事業・児童関係事業・高齢者関係事業

### X 生活福祉資金貸付・生活困窮者自立支援施策への対応

### XI 福祉保健活動拠点運営・団体事務

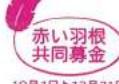
### ■平成30年度 収支決算（資金収支）

（単位：円）

収入額	支出額	収支差額
80,950,549	82,445,417	△ 1,494,868



## 活かされています！ 赤い羽根共同募金



10月1日▶12月31日

~ひとりひとりのあたたかい気持ちが  
南区の福祉を支えています~



共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」です。  
都道府県ごとの地域福祉の推進を図るため、皆さまからの募金を活用して、民間の福祉施設や団体が実施する様々な事業を支援することを目的としています。



## ボランティア入門講座

ボランティア活動の見つけ方やボランティアセンターの活用方法などについて学びます。これからボランティアを始めようと思っている方、ぜひご参加ください。

【日 時】11月6日（水）18時30分～20時

【場 所】南区福祉保健活動拠点  
浦舟複合福祉施設8階



【問合せ】南区ボランティアセンター

【電 話】260-2531 【FAX】251-3264

## 第14回 レインボーフェスタ☆みなみ

地域住民と社会福祉施設、学校等の地域交流まつり。あらゆるアーティストによるパフォーマンスや模擬店等。ぜひご来場ください。

【日 時】9月21日（土）10時～14時

【場 所】どんとこい・みなみ、中村地区センター、中村特別支援学校、中村小学校他

【問合せ】どんとこい・みなみ 担当：下川原、中根

【電 話】264-2866 【FAX】264-2966

## 善意銀行寄付者

（H31年4月1日～R1年6月30日）

※敬称略、順不同

手芸ボランティア すずらん

NPO法人 みなみ区民利用施設協会

明るい社会づくり運動南区協議会

南区吟剣詩舞道連盟

南区民謡民舞友の会



編集委員紹介（アイウエオ順）：飯野忠明・上野隆子・大八木綾子・小川正治・佐藤英子・永井正己

●「社協のみなみ」の発行費は、共同募金配分金を活用しています。

南区ボランティアセンターだより

# ボラび!! no.31

「ボラび!!」のひは

ピッピッと感じるアンテナ

ピースのひ

ひかいちのひ

Pit inのひ



それから…

南区ボランティアセンター

南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設8階

Tel. 260-2531 Fax. 251-3264

◆開館:年末年始をのぞく午前9時~午後5時◆

日・祝祭日も開館しております

## ボランティアの「はじめの一歩」を応援します!

日 時: 10月6日(日) 11時~14時 (予定)

\*オープニングイベント終了後~福祉体験ラリーカード終了まで

\*福祉体験コーナーは 12時~13時まで昼休み

場 所: 大岡健康プラザ (南スポーツセンター・大岡地区センター)  
大岡地域ケアプラザ



いきいきふれあい南なんデーにて、  
ボランティア情報コーナー &  
福祉体験コーナー

OPEN!!

車いす・アイマスク・  
点字・手話の  
体験ができます。  
4つ全てを体験した  
方には、プレゼントが  
あります



## 「神奈川県立こども医療センター」見学会 ~南区ボランティア連絡会研修会~



6月18日(火)、ボランティア連絡会メンバー 41名で「県立こども医療センター」を見学しました。

こども医療センターには「オレンジクラブ」というボランティアグループがあり、300人以上のボランティア登録者が、「入院中や通院中の子どもたちと家族に安心感と楽しみを提供するため」に様々な活動をしているそうです。

入口近くで通院するこどもや家族を笑顔で向かえ、受診の案内等をする外来ボランティア。「がんばったね」の思いのこもった折り紙の指輪や腕時計のご褒美はこどもに大人気。

季節の植物が心を和ませてくれる屋上庭園の手入れ、家族が入院中の子どもの面会中に兄弟を預かって一緒に遊び活動、季節の飾りものを作つて飾る活動、お話し会をはじめ27のグループが活動していく活動内容や頻度もさまざま。

毎年12月第一日曜日には地域交流と活動資金を得るためにチャリティーバザーを開催しているそうです。

この見学会をきっかけに、ボランティア連絡会加入グループの「みなみ・おもちゃ病院」が「オレンジクラブ」のおもちゃ修理をするという新しいつながりができました。



## ボラメイト

南区内で活動するボランティア  
仲間(メイト)を紹介します

## 南区災害ボランティア ネットワーク

代表 高松清美

南区災害ボランティアネットワーク(南区災ボラ)は、南区で大規模災害が発生した時に、区役所・社会福祉協議会と一緒に、区災害ボランティアセンターの運営に携わるボランティア団体です。

発災時に災害ボランティアセンター設置・運営がスムーズに行えるように、平常時は災害ボランティアセンター設置訓練、研修、区民への啓発活動等をしています。



南センター一体育館での  
災害ボランティアセンター  
レイアウト検討

ご存知ですか?

## 災害ボランティアセンター 設置予定施設

南区で大規模災害が発生した際に、災害ボランティアの活動を円滑に進めるための拠点となる「南区災害ボランティアセンター」の設置予定施設が南図書館から吉野町市民プラザに変更になりました。

吉野町市民プラザが使用できない場合は、第二候補の南センターに設置される予定です。

ボラび掲載内容の問合せ・申込みは

南区ボランティアセンター TEL. 260-2531  
FAX. 251-3264